



公益社団法人 秋田県理学療法士会

Akita Physical Therapy
Association NEWS



Partner

広がれ 秋田県理学療法士会員、そして地域との輪

秋田学会開催レポート

東北学会 学会の見どころ 一挙大公開!

理学療法士なら知っておきたい タンパク質の真実

研修会・セミナー案内

会長のあゆみ/思い邪無し

発行：公益社団法人 秋田県理学療法士会

会長：菅原 慶勇

責任編集：加賀屋勇氣

印刷：(株)秋田情報プリント

事務局：〒010-0921 秋田市大町1丁目2-40

TEL・FAX 018-867-1804 E-mail akitapt-home@ptakita.org

ホームページ <https://www.ptakita.org>

第26回 秋田県理学療法士学会



昨年度に引き続き、今年度も完全オンラインでの開催となりました。学会長の堀川 学先生(写真左)、準備委員長の松橋 康子先生(写真右)をはじめとした運営スタッフのご尽力により、実りのある学会となりました。学会長賞を受賞した大倉 和貴氏、奨励賞を受賞した古川 大氏の2名のコメントとともに学会の様子を一部ご紹介いたします。

学会長賞

大倉 和貴氏 (秋田大学医学部附属病院)

**「腹臥位療法導入によって人工呼吸管理の導入を回避できた
新型コロナウイルス感染症患者の一例」**



この度は学会長賞という榮譽ある賞をいただくことができ、大変光栄に思っております。大会長の堀川学先生、準備委員長の松橋康子先生をはじめ本学会に携わっていただいた皆様に心より御礼申し上げます。

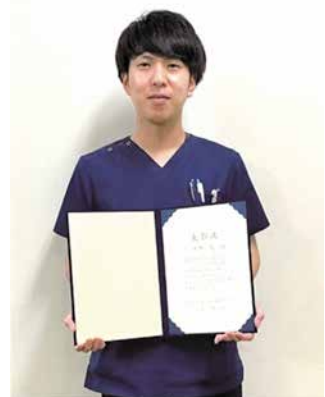
今回は世界各国で猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症の症例に関して報告させていただきました。現在ではかなり多くの患者さんがリハビリテーション治療を受けることができるようになりましたが、これは先駆的に診療を行われている方々からの情報や研究報告があっこそだと思えます。私達も先駆者達の知見を活用して診療に当たらせていただきましたが、流行の初期から驚異的な速度でエビデンスが蓄積され、リハビリテーション治療の必要性が明らかにされていく様を見て医学の底力を感じておりました。医療に携わって10年にも満たない私がこの驚異的な速度と肩を並べるのは難しいですが、私達のチームが先駆者達の研究結果を参考にひとりの患者さんのために診療をしたように、私も誰かひとりでも患者さんの役に立つ研究や報告をしようと改めて思いました。

最後に今回の報告にあたって情報の開示を快諾いただいた患者さんに深く感謝の意を示したいと思います。

奨励賞

古川 大氏 (市立秋田総合病院)

**「呼吸リハビリテーション維持プログラムを継続した
慢性閉塞性肺疾患患者の身体活動量の2年間の変化」**



この度は学会奨励賞を授与していただき、誠にありがとうございます。大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。大会長の堀川学先生、準備委員長の松橋康子先生、そして学会関係者の皆様のご厚意に感謝申し上げます。

本研究はCOPDにとって死亡の最大の予測因子であると言われている身体活動量 (PA) に焦点を当て長期間のフォローを行いました。在宅トレーニングの指導とPAのカウンセリングを組み合わせることで、先行研究より少ない介入頻度でも身体活動量の維持に繋がることが判明しました。まだまだ課題はありますが、少ない社会資源で実践できることを強みに臨床普及を目指していきたいと思えます。

今回、大変名誉ある賞を頂きましたのも、ここに書ききれないほど多くの先生方からご指導ご鞭撻をいただきましたおかげです。この場を借りまして感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援を、どうぞよろしくお願い致します。

脳と心臓を巡る理学療法 ～重症化予防と再発予防～

令和4年6月18日開催

参加者 169名

一般演題

15演題と充実した報告の場になりました。どの報告も質が高く興味深いもので、オンライン上ではありましたが、アフターセッションを含め質疑応答も大変盛り上がりしました。

シンポジウム 「脳卒中理学療法の各病期における重症化予防と再発予防」

急性期： 皆方 伸 氏 (秋田大学医学部附属病院)

回復期：越後谷 和貴氏 (秋田県立リハビリテーション・精神医療センター)

生活期： 鈴木 克昌氏 (地域密着型特別養護老人ホーム うぐいす城東)

急性期・回復期・生活期の各病期にてご活躍されている3名の先生方より実際の症例紹介も交えながら、専門的な視点による多角的な“予防”についての取り組みをご講義頂きました。リスク管理を行いながら運動負荷をどう調整していくか、PTの専門性を意識する機会となりました。

教育講演

「Short Presentation Stage -臨床で役立つ！特(得)ダネセミナー-」

毎回恒例となつてまいりました専門領域からのミニレクチャー！ありがたいことに今年も行われました！基礎的な内容をおさらいしながらも、ガイドラインや実際のエコー画像等、明日からの臨床業務への刺激となる内容でした。

特別講演 「脳卒中・循環器病対策として理学療法士に求められるもの」

高橋 哲也氏 (順天堂大学)



早期リハビリテーションの第一人者である高橋 哲也先生をお招きしました。学生時代にこの秋田の地で実習されていたというご縁もあり、大変ご多忙の中ご講義頂くことができました。「脳卒中・循環器病対策基本法」の成立に至る過程から秋田県における実績指数、諸外国とのガイドラインの違いなど、あらゆる面から予防への意識の必要性をご教授いただきました。これからの未来を見据え、理学療法士として必要とされるための問題提起に身が引き締まりました。

来年度のテーマ 第27回 秋田県理学療法士学会

「肺理学療法を科学する - エビデンスに基づいた理学療法計画 -」

学会長 菅原 慶勇 (市立秋田総合病院) 日時 令和5年6月17日(土)
実行委員長 川越 厚良 (市立秋田総合病院) 会場 ハイブリッド開催を予定

雨垂れ石を穿つ・・・コツコツタイプではないので一気に学びたい？

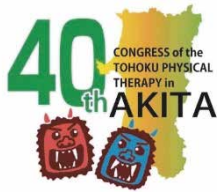
そんなあなたに第27回学会はうってつけ！吸器の理学療法が基礎から

最新の情報まで1日で学べる・・・そんな学会にしてみました。

来年の秋田学会にもぜひご参加ください！

菅原 慶勇





第40回 東北理学療法学会

栄養管理とこれからの理学療法 ~ You are what you eat. ~

会期	2022年 9 月 10 日(土)▶ 11 日(日) Web開催		
大会長	佐竹 将宏 (秋田大学)	副大会長	靱山 日出樹 (秋田リハビリテーション学院)
準備委員長	齊藤 明 (秋田大学)		

今年の秋田学会が終わり、次は東北学会が2か月後に迫ってきました！秋田開催の本学会を盛り上げるべき、本誌では、その魅力をトコトン掘り下げてみたいと思います！

まずはポスターに注目！

本学会のポスターはもうご覧になりましたか？「お米やハタハタ、ガッコといった、秋田の名産で、開催地を表現したんだなあ」くらいに思っていたのですが、よくよく考えると、学会テーマである「栄養」にもつながるイラストであることに気が付きます！なまはげや竿燈ではなく、秋田の食をテーマに仕上げたとてもいいポスターですよ！オンライン学会ではありますが、学会当日の夜は、秋田の郷土料理を味わってみるのも、いい学会の楽しみ方かもしれません！

よ〜く練られた
素敵なポスター
です！



充実の特別講演
ラインナップ！


“栄養”を食い尽くせ！
これではっちり栄養特別講演

Day 1 10:40 - 11:40

特別講演 1

これからの
栄養・嚥下理学療法

高崎健康福祉大学
保健医療学部 理学療法学科 吉田 剛 先生




Day 1 15:30 - 17:00

特別講演 2

リハビリテーション栄養と
栄養理学療法

東京女子医科大学病院
リハビリテーション科 若林 秀隆 先生




Day 2 10:10 - 11:10

特別講演 3

スポーツ栄養と
これからの理学療法

青森県立保健大学
健康科学部栄養学科 大野 智子 先生



両日に配置された特別講演は、学会のテーマである「栄養」を軸に据えた充実の内容でお届けします！

まずは、高崎健康福祉大学の吉田 剛先生から「栄養・嚥下理学療法」をテーマにご講演いただきます。栄養・嚥下理学療法という名前に馴染みがない方も多いかもしれませんが、日本理学療法学会連合でも「日本栄養・嚥下理学療法研究会」として領域を確立しています。そして吉田先生は、その副理事長として活躍されています。特に吉田先生は嚥下を専門とされており、摂食嚥下を理学療法の視点から評価し介入する方法を学ぶいい機会になるはずですよ！

2つ目は東京女子医科大学病院の若林秀隆先生からリハ栄養についてご講演頂きます。今、リハ栄養という言葉がざらりと使いましたが、我々にとって、当たり前のように使われるこの“リハ栄養”という言葉を作ったのが、何を隠そう若林先生です。リハ医として、さらにリハ栄養の専門家として非常に著名な若林先生からどんなお話を伺えるのか、今から楽しみです。

3つ目の特別講演は、青森県立保健大学の若林智子先生です。管理栄養士であり、スポーツ栄養を専門としている若林先生からは、栄養の面から理学療法やアスリートへのトレーニングの効果を高める方法を教えていただきます。実は若林先生は秋田がご出身ですので、きっと秋田の現状や食を踏まえてご講演頂けるものと思います！

学会の見どころ 一挙大公開!



参加費

会 員：事前登録 3,000 円（9月2日まで）以降4,000 円
非会員：4,000 円 学生：無料

事前参加登録
募集中!



もちろん栄養以外の見どころも!

教育講演には、JIN整形外科スポーツクリニックの医師である仁賀定雄先生がご登壇します! 仁賀先生といえば、浦和レッズの常勤医師として陰ながらチームをサポートしてきたことで有名です。怪我をした選手のメディカルリハビリテーション、そしてアスレチックリハビリテーションを通して得た経験をもとに現在は、スポーツ選手に限らず、高齢者も含めた幅広い治療を自院で展開されています。今回はサッカーでよく見られる、難治性の鼠径部痛症候群（ランニングやキック動作時の鼠径部及びその周囲の疼痛）についてご講演頂きます。

Day 2 9:00 - 10:00

教育講演

難治性鼠径部痛の診断と リハビリテーションのポイント

JIN整形外科
スポーツクリニック 仁賀 定雄 先生



若手・学生も大歓迎! Skill Laboで臨床力を磨け!

領域別症例検討シリーズ Skill labo セミナー

症例を通して
臨床力アップ!



Skill labo 1. 整形疾患

9/10 (Sat.) 13:10 - 14:10

演者: 瀬戸 新 (山王整形外科医院)

Skill labo 2. 内部障害

9/11 (Sun.) 10:10 - 11:10

演者: 川越 厚良 (市立秋田総合病院)

Skill labo 3. 脳卒中

9/11 (Sun.) 12:30 - 13:30

演者: 小原 孝裕 (中通リハビリテーション病院)
伊藤 優也 (秋田県立循環器・脳脊髄センター)

今学会の注目セッションのひとつがこちら! 領域別症例検討シリーズ Skill labo セミナー です! 脳卒中、整形疾患、内部障害の3つの領域で、オーソドックスな症例紹介を通じて、最新の理学療法ガイドラインに応じた診療手順、それぞれの施設に即した取り組み、工夫などを解説する企画となっています。単なる症例発表にとどまらず、Zoomの機能を最大限に活かして、参加者の皆様の質問・意見をもち、演者と座長がラジオトークを繰り広げたり、実技風景を配信するハンズオンの演出も予定されています!

このSkill labo セミナーは、学術的視点を組み込みながらも、日常臨床で実際に何が行われているかを紐解き、さらにディスカッションを通して理解を深めていくことに主眼を置いています。ですので、若手理学療法士や、学生の皆さんにとって、非常に有意義な企画になること間違いありません! ぜひ皆さんで、Skill laboratory (手法の研究所) を完成させましょう!



On-lineでもコミュニケーションを諦めない！ oViceで東北学会を100%満喫しよう！

「オンラインの学会は便利だけど物足りない…」 「学会の魅力は、普段お会いできない先生と直接会って、お話しができるところにあるのにZoomじゃそれができない」 そんな声をこの約2年半、ことあるごとに聞いてきました。オンライン学会最大の弱点であるコミュニケーション不足を解消すべく、今回の東北学会で導入されるのが、バーチャル空間であるリアルかのようなコミュニケーションが取れるシステム、**oVice**です！



自分のアバターを作成し、それをバーチャル空間で自由に動かすことができます。アバターには指向性があり、自分の近くにいるアバターの声は大きく聞こえ、離れると声小さくなっていくようにできており、まるで現実空間のような会話が行えます。上の図は、oViceのお試しバーチャル空間に入ったところですが、ゲームみたいでちょっとワクワクしませんか？！本番には、学会場に見立てた空間で、参加者が動き回れるのかな？とか考えると、楽しくなってきますね！

学会運営局長の福原隆志さんに何うと、特別講演やセミナーは、終了後30分ほど講師の先生方にoVice内にいていただけるよう依頼しており、実際に講師の先生とお話ができるとのこと。複数人で同時に講師の先生のところに集まることができるので、実際に直接話しかけるよりハードルが低いかもしれませんね！一般演題でも活用されるのか気になるところです！また、大会時期間中のみでなく事前使用が可能となっており、参加者の打ち合わせや、ミーティングも、このバーチャル空間内で行う予定とのこと。時代ですね～（笑）もしかしたら、oVice内で同期会や飲み会ができるかもしれません（笑）





まだまだあります！学会の“おいしい”ところ！

ここまで紹介した以外にも、教育・管理、神経系、内部障害の3領域から、セミナーも用意されています。こちら臨床に直結するパーキンソン病のすくみ足治療と、誤嚥性肺炎の予防アプローチ、さらに、我々のキャリアに関するセミナーと幅広い内容です。もちろん！**佐竹学会長による学会開始を告げる基調講演**も忘れてはいけません！！9月10日は朝から襟を正してPCに向かいましょう！

今、理学療法士はジェネラリストであることが強調されています。本学会は、栄養を軸に据えながらも、多領域をボーダレスに学べる最高の機会になるはずです。2日間まるまるっと栄養と理学療法について学び、考え、ディスカッションする場にして学会を盛り上げていきましょう！



東北学会
紹介動画



東北学会
ホームページ

最後に東北学会の紹介動画についてお知らせします。この記事でも紹介した見どころがギュッと詰まった動画になっていますので、ぜひみなさん、スマートフォンで左上のQRコードを読み込んでご覧になってくださいね！

それでは、9月10日と11日は！

**東北の理学療法士が一丸となって
本学会を盛り上げていきましょう！**

セミナー1

**東北地方における
今後30年間の理学療法士のキャリア戦略**

教育・管理領域

講師：細川 寛将（株式会社 エス・エム・エス）

セミナー2

**すくみ足の病態理解と
実践アプローチ**

神経系領域

講師：奥埜 博之（摂南総合病院）

セミナー3

**誤嚥性肺炎に対する
理学療法介入と多職種連携**

内部障害領域

講師：沖 侑太郎（神戸大学大学院）

気になる参加ポイントについてもお伝えします。本学会では、登録理学療法士の更新や、専門理学療法士取得、認定・専門理学療法士の更新に使用可能な参加ポイントとして、**12.5ポイント**（点）が付与されます！さらに、本誌で紹介した各講演やセミナーにもそれぞれ点数が付与されますので、計画的に自分に必要なポイントを獲得できるようにしましょう。詳細については学会HPにて確認できます（左のQRコードからスマートフォンでもご確認できます）。参加登録はすでに始まっています（そしてお早目の登録がお得です！）ので、学会HP（あるいは協会HP）からお早目に事前登録を済ませましょう！

**事前参加登録が6/10
より開始しています！**

**学会HPから
お早目に登録を！**



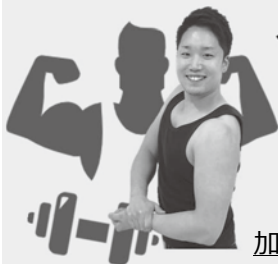
【お詫びと訂正】

前号（ParTner204号）におきまして、本学会の参加費を「参加費無料」と記載しておりましたが、誤りでございました。正しくは、上記の通りとなります。深くお詫びいたしますとともに、謹んで訂正させていただきます。



理学療法士なら知っておきたい

タンパク質の真実 -MUSCLE TALK SHOW-



まさかの今年度も登場 加藤拓哉 です。タンパク質の理想と現実を追い求めるべく、スポーツ現場で活躍されているトレーナーに栄養について伺います！

加藤 拓哉 (循環器・脳脊髄センター)

ベンチプレスなら県土会ー！と豪語する肉体派理学療法士。自宅には専用ジムも！
トレーニング学、栄養学の論文を読むのが日課。プロテインのためにお小遣いを前借中。



Talk with 菅井 康平 / アスレチックトレーナー
(秋田県立リハビリテーション・精神医療センター)

加藤 今号をお願いします！今回は、サプリメントをどう考えるかをメインに伺おうと思います！僕が毎日摂取している、プロテインは、果たして必要なかをぜひ知りたいです。ここまでの話を伺っていると、菅井さんはプロテインに否定的かなとも感じているのですが（笑）

菅井 全否定しているわけではないですよ（笑）加藤くんのように目的があって、計算した上で使うことはいいことだと思います。ただ基本的にアスリートであっても、必要なタンパク質は食事で満たすことができるとされていて、プロテインも必須ではありません。

加藤 一日にトータルでタンパク質の必要量を満たしましょうというのが基本的な考え方ということですね。

菅井 そうですね。ただ、プロテインを含めたサプリメントは、吸収速度が速いのでトレーニング直後に有効だということだけでなく、保存がきくこと、遠征など移動の際に便利だということ、また減量中には余計な脂質などを取らずに済むので、便利な点も多く、使い方が大切ですね。

加藤 仕事をしてると、食事だけでうまく栄養を取るのが難しいなと感じています。僕もトレーニングを始めたことは、食事だけでタンパク質を補おうとしたんですが、お腹がついていかなかったんですよ...

Muscle Talk Show: トークテーマ

- ① 筋肉をつけることの重要性は？
- ② タンパク質摂取の必要性とは？
- ③ タンパク質摂取の方法・タイミングは？
- ④ ATから見たサプリメントの位置づけとは？
- ⑤ 理想と現実のギャップは？

菅井 食事で摂取することを前提として、食べきれないという人は、合間にサプリメントを使うのは有効な手段のひとつだと思います。

加藤 僕はトレーニング直後はサプリメントのほうがいいと考えているんですが、一日の総タンパク質量がバランスよく満たされていればサプリはなくてもいいという考え方もあります。菅井さんはどう考えていますか？

菅井 私の見ている高校生たちに対しては、一日の必要量が取れていれば、サプリメントは必要ないよと指導しています。小・中学生では、サプリメントが必要なほどのトレーニングを日常的に行うことは、明らかに発育・発達の観点から考えて有害とされています。ただ、プロアスリートや成人のフィットネスを担当するトレーナーの場合には、また考え方も変わってくるかと思います。実際、ラグビーのトップリーグでは、食事もちろんしっかりとっているけど、練習後に複数種類用意されたプロテインの中から好きなものを飲むというのが、当然になっているんですよ。ちなみに高校生では、好きな選手が飲んでるから自分も飲む、みたいにあまり目的がないサプリ使用の場合もあるので、そういう場合は指導が必要と感じますね。

加藤 学生の場合には食育の観点からも考えなければいけないということがよく分かりました。ただ食事からタンパク質をしっかり取ると言っても、高校生の場合は具体的に何をどれくらい摂取すればいいのか難しいと思います。なにか具体策はありますか？

菅井 「20gのタンパク質を取ってね」と言っても、それってどのくらい？となりますよね（笑）高校生には具体的に、食材とそれに対応する量を説明したり、肉や魚については、ハンドポーションと言って、手のひらのサイズが100gになるので、ピュッフェなどでは目安にしてもらいます。

菅井 ATとして、サプリをどう考えるかについてもっと話すと、アンチドーピングガイドブックというものがある、それによるとサプリが有効な場面として、食事制限の際や、衛生環境の良くない地域に行く際など6項目が挙げられています（図1）。ただ、サプリメントは基本的にドーピングに引っかけられないように作られているので、逆に言えば、摂取したから競技力が向上するわけではありません。つまり、あくまで食事がうまく摂取できない場合の代用品という立ち位置ですね。実際WADA（世界アンチドーピング機構）はスポーツでのサプリメント使用を推奨していません。HPSC（Japan High Performance Sport Center）では、サプリメントの使用に関しては、①栄養素の欠乏がある、②食事で改善ができない、③そのサプリが栄養素の欠乏改善に有効な科学的根拠がある、④副作用や薬との相互作用について理解している、⑤信頼できる製品である、⑥症状の改善やパフォーマンスの改善が見込まれる、といった多くのチャートをクリアして、やっと「試しに使用する」として使います。また禁止物質が含まれていないはずのサプリメントであっても、製造過程の中で誤って禁止物質が含まれてしまう可能性もゼロではありません。総合すると、**スポーツ選手へのサプリメント使用はかなり慎重に考える必要があって推奨はしませんね。**加藤くんのように、お金があって、自分のボディメイクのために使用するのは全く問題ありませんよ（笑）

加藤 実際に摂取していいか悪いかを見分けるのは、かなり難しいと思うのですが...

菅井 この製品は禁止物質が含まれていませんよ、という印として、国際的な認証機関の試験をクリアしたことを示す認証マークがあって、それをチェックします（図2）。私たちが日頃摂取するスポーツドリンクやサプリメントもよく見てみると、ついているので、チェックしてみてください。実際には、ドーピング検査を受けた際に摂取したものを提出できるように、全量摂取せずに少し残すようにします。摂取した実物がないと、隠蔽を疑われる可能性があるからです。

加藤 本当にシビアですね！ では最後に、実際に現場で感じる理想と現実のギャップを教えてください！

菅井 タンパク質で話すと、しっかりタンパク質を色々な方法で摂取する選手は多いんですが、糖質が不足している場合が見られます。グリコーゲンが枯渇すると体のタンパク



図1 サプリメントの利用が有用と考えられる場合

質が分解されてしまいますので、糖も大事です。ここが分かっていない人は多いですね。

加藤 僕の場合は、GI値（血糖値の上がりやすさ：高いほど太りやすい）を意識して、普段の食事では米よりも蕎麦を取ることが多いです。トレーニング後の糖が枯渇するタイミングではお米も食べるんですが、この考えはどうでしょう？

菅井 いいですね！高校生には正直関係ないですが、年齢を考慮すると、米ばかりでなく、GI値の低いお蕎麦を食べるとするのはメタボ予防にもいいと思いますよ。

菅井 もうひとつギャップを挙げると、高校生でもよく、エナジードリンクを飲む子がいますが、そこにはL-カルニチン（筋タンパク質分解抑制）やL-アルギニン（成長ホルモン分泌）、カフェイン（運動疲労軽減）といったスポーツに一見有効な成分が含まれています。ところが、実際に効果のある量かという部分を確認すると、全然足りない量なんです。なので生徒には「これはあくまでジュースであって、競技力には影響しないからね」と話しています。

加藤 そうというのは、僕も勉強するようになって、成分を良く見るようになりましたけど、高校生が分析するのは難しいですから、トレーナーのサポートが重要になりそうですね。さて、そろそろ紙面が限界です！（笑）今回はたくさん有意義なお話を伺えました。とても楽しかったです！有難うございました！



図2 アンチドーピング認証マーク

R4年度 秋田県理学療法士会 研修会

3rd.

▷ 超急性期における理学療法

日時：令和4年10月1日(土) 15:00-17:00

講師：岩田 健太郎 氏 (神戸市医療センター中央市民病院)

Web開催
参加費無料
今年も引き続き！

4th.

▷ 脳卒中後運動障害に対する物理療法(仮)

日時：令和4年12月3日(土) 15:00-17:00

講師：生野 公貴 氏 (西大和リハビリテーション病院)



お問い合わせ先

秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部

高橋 裕介 までご連絡ください

✉ chuokensyu.akita@gmail.com

参加登録はオンライン (マイページ) からお願いします！

企画運営班

▷ 地域ケア会議推進リーダー導入研修会

日時：令和4年 9月17日(土) 9:30-16:30

講師：鈴木 克昌 氏 (地域密着型特別養護老人ホーム うぐいす城東)

締切：令和4年 8月6日 (土)



お問い合わせ先

秋田大学医学部保健学科理学療法学専攻

照井 佳乃 までご連絡ください

✉ 2138terui@s.akita-u.ac.jp

▷ 介護予防リーダー導入研修会

日時：令和4年 10月22日(土) 9:30-16:30

講師：田安 義昌 氏 (中通総合病院)

佐藤 孝憲 氏 (中通リハビリテーション病院)

締切：令和4年 9月17日 (土)

研修部からのお願い

今年度から、全国・地方を問わず、各研修会・学会等への参加登録をする際、協会HP内のマイページから行うようになりました。これまで秋田県士会で行っている研修会などは、参加申し込み期限が切れたあとでも、ご連絡を頂ければ、参加登録をしておりましたが、今後は締切を過ぎてしまうと、ポイント付与や参加が原則できなくなります。余裕を持ったの参加申請をお願い致します。



専門領域研究班 セミナー案内

新人のみなさんにも
推奨

各領域の研究班では 毎年、初学者でも参加しやすい内容で研修会を企画しております。参加費は無料です！今年度の開催予定期日を掲載しています（多少前後する可能性はございます）。是非ご参加頂きますようお願い致します。県士会HPの「士会行事カレンダー」からも日程を確認できますので、ご利用ください。

運動器



- ① 令和4年7月27日（水）
② 令和4年11月29日（火）

もうすぐ！

神経



- ① 令和4年8月3日（水）
② 令和5年2月24日（金）

もうすぐ！

呼吸



- ① 令和4年10月5日（水）

循環器



- ~~① 令和4年6月1日（水）~~
② 令和5年1月18日（水）

終

老年期



- ~~① 令和4年6月21日（火）~~
② 令和4年12月13日（火）

終

スポパラ



- ~~① 令和4年6月10日（金）~~
② 令和4年11月11日（金）

終



2022年県士会役員のお知らせ



6月18日に行われた総会および理事会において、当会の新役員が決定しましたので、ここにお知らせします。各理事の紹介は今後お伝え致します。

会長 菅原 慶勇
副会長 須藤 恵理子
畠山 和利

委員会担当 佐竹 将宏
総務部 柴田 和幸（新）
財務部 松橋 孝幸
事業部 木元 裕介
研修部 渡邊 基起
広報部 加賀屋 勇氣（新）

北部ブロック活動部 大田 健太郎
中央ブロック活動部 ジョーンズ 佳子
南部ブロック活動部 鈴木 和也
監事 鈴木 克昌
倉田 昌一

秋田理学療法に関する お詫びと訂正

今年3月に発行しました「秋田理学療法」において、賛助会員名が旧名のまま掲載されているとご指摘を受けました。深くお詫びするとともに、変更後の会社名を掲載いたします。

旧：『帝人在宅医療株式会社 仙台支店 北東北営業所』
新：『帝人ヘルスケア株式会社 東北支店 秋田営業所』

この度は、多大なるご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。今後このようなことのないように確認を徹底してまいります。誠に申し訳ございませんでした。

広報部担当理事 佐竹将宏

会長のあゆみ

4～6月会長活動記録



Cartoon by MomentCam

- | | | | |
|------|-------------------------------|------|------------------------------|
| 4.3 | 日本理学療法士協会組織運営協議会 (Web) | | |
| 4.4 | 秋田市医師会立秋田看護学校講師会議 (Web) | | |
| 4.7 | 士会創立50周年記念事業実行委員会 (Web) | | |
| 4.20 | 士会拡大理事会ならびに三役会議 (Web) | | |
| 4.21 | 県士会創立50周年記念事業準備委員会 (秋田市) | | |
| 4.25 | 東北ブロック理学療法連盟会議 (Web) | | |
| 5.11 | 在宅呼吸管理Webセミナー (Web) | 6.3 | 士会創立50周年記念事業実行委員会 (秋田市) |
| 5.12 | 東北ブロック理学療法連盟会議 (Web) | 6.5 | 日本理学療法士協会定時総会 (Web) |
| 5.14 | がんの理学療法up date (Web) | 6.6 | 東北連盟会議 (Web) |
| 5.14 | 21世紀の医療を守る県民の集い (秋田市) | 6.8 | 県士会第27回学会企画会議 (Web) |
| 5.14 | 日本理学療法士協会東北ブロック協議会理事会 (Web) | 6.9 | 県医師会小玉会長と懇談 (秋田市) |
| 5.17 | 日本理学療法士協会第1回士会支援事業運営部会 (Web) | 6.9 | 県士会第27回学会運営会議 (Web) |
| 5.21 | 日本理学療法士連盟東北ブロック主催研修会 (ハイブリッド) | 6.15 | 日本理学療法連盟1か月パワーアップチャレンジ (Web) |
| 5.21 | 秋田県立循環器・脳脊髄センター訪問 (秋田市) | 6.18 | 第26回秋田県理学療法士学会 (Web) |
| 5.21 | 三役会議 (秋田市) | 6.18 | 県士会総会 (ハイブリッド) |
| 5.22 | 秋田県第1回ステップアップ研修会 (Web) | 6.18 | 県士会臨時理事会 (秋田市) |
| 5.22 | 秋田県トレーナー派遣委員会 (Web) | 6.19 | 第1回前期研修会講師 (Web) |
| 5.22 | リハビリ教育評価機構2022年度評価員研修 (Web) | 6.20 | 東北PT・OT・ST団体総決起集会 (Web) |
| 5.25 | 士会理事会ならびに三役会議 (Web) | 6.20 | 東北呼吸ケア講演会 (Web) |
| 5.28 | 日本理学療法士協会総会議事運営委員会 (Web) | 6.22 | 湯上市社会福祉協議会評議員会 (湯上市) |
| 5.30 | 湯上市障害者自立支援審査会 (湯上市) | 6.28 | 秋田JRAT打ち合わせ会議 (Web) |

よこしま 思い邪無し — 会長の想いをつづる —

連載
コラム

縁 (音えん、訓ふち・えにし・ゆかり)

最近、何故か縁について考えることが多い。結ばれる方ではなく、切れる方だ。コロナ禍の影響か、人と人との関係で成り立つ縁が2年も過ぎた自粛生活でどんどん劣化し希薄になっている。医療職の私を周りは気を遣い、仕方のないことだが少人数でさえ酒宴にも誘わない。残念でならない。ここまで年を重ねてくると当たり前だが様々なところで様々な方と縁があり、関係を育んできた。同職種・職場・地域・患者・支援者・スポーツ・趣味を通じた仲間・友人などなど、持ちつ持たれつ、助けられた方が多いかな。感謝に堪えない。肩書による縁も、半分はあるだろうか。役目を終えたときにそれは切れるのだろうか。そう思うと気持ちが冷める感じがして寂しさをおぼえる。がっはっはと笑えず悲観的に捉えるのもコロナ禍の影響か。幸いに理学療法士である以上は、いくつになっても縁は紡がれ続けていく。100歳になっても続ければこの上なく面白い。まあ、不摂生で医療関係者と新たな縁が結ばれる確率がほとんどであるが…。

菅原慶勇

思い邪無し：
「論語」より。人々の詩を詠む心について述べた一節。
嘘偽りのない純粹さの意。

ニュース編集班より

ParTner読者の皆様、いつも有難うございます。広報部の加賀屋です！205号の表紙はあまり夏っぽくないのですが、どうしても使いたくて採用しました。仙北市にある玉川で見られる水没林です。温泉が混ざり本当にこんなキレイな色の湖面をしているのですが、ダムに貯水されている時期にしか見る事ができない特別な光景です！（5/6月の天気がよいときだけ！）撮影にいったとき、ドローンで撮影している人がいて、画像を見せてもらいました。来年の予算にドローンを入れようかな…。

ニュース編集班では掲載記事のご相談もお待ちしております。次回ニュースの原稿締め切りは9月20日（火）です。宜しくお願い致します。

連絡・送付先：akita.ptnews@gmail.com

問い合わせ先：秋田県立循環器・脳脊髄センター 機能訓練部 佐々木杏奈

Tel：018-833-0115 Fax：018-833-2104 E-mail：kagaya-yuki@akita-hos.or.jp

学校法人 コア学園 秋田リハビリテーション学院

厚生労働大臣指定・秋田県知事認可校

平成27年4月開校
秋田県初！
理学療法士養成専門学校

理学療法学科

4年課程

40名定員



〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-80
TEL 018-865-0188 FAX 018-864-6137 URL <http://www.core-akita.ac.jp/arc/>

●応援します！医療と福祉を確かな技術で

有限会社 共栄メディカル

●総合医療機器 ●理化学器械 ●福祉用具レンタル ●介護用品 ●厨房設備機械 ●業務用洗濯機械

〒014-0102 秋田県大仙市四ッ屋字水木田33

〒010-0964 秋田市八橋鯉沼1-35 サニーハイツ102

TEL 0187-66-2123 (代)

FAX 0187-66-2139

☎ 0120-971-294

信頼の医療機器

株式会社 秋田医科器械店

代表取締役 池ヶ谷 敏之

本社 〒010-1423 秋田市仁井田字中谷地30-2

Tel.018-839-3551(代) Fax.018-839-3546

横手営業所 〒013-0064 横手市赤坂字大道向2-4

Tel.0182-32-8311(代) Fax.0182-32-8313

能代営業所 〒016-0014 能代市落合字上釜谷地189番

Tel.0185-52-0024(代) Fax.0185-54-7319

有限会社 秋田ブレース

義肢 装具 コルセット 車椅子各種杖

〒019-2621

秋田県秋田市河辺諸井字野田96-5

TEL / FAX 018-882-2116

患者さんの
Quality of Lifeの向上が
テイジンの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD(OX)NAC(TB)1201



(社)日本義肢協会
登録・東北119号

厚生労働省指定工場

義肢・装具・コルセット・車椅子・各種杖

株式会社 佐々木義肢製作所

代表取締役 佐々木 和憲

本社 〒980-0801 仙台市青葉区木町通二丁目3-3(木町通小学校前)
TEL (022) 274-1181(代) FAX (022) 274-1183
支店 〒010-0973 秋田市八橋本町二丁目7-1
TEL (018) 862-7204(代) FAX (018) 862-9347
〒036-8227 弘前市大字桔梗野二丁目16-12
TEL (0172) 33-1150(代) FAX (0172) 33-1153

一般社団法人日本義肢協会加盟・東北101号



株式会社 千秋義肢製作所

代表取締役 佐々木雅伸

義手・義足・装具・車椅子・リハビリ用品

秋田市新屋豊町1-22

TEL 018-823-3380 FAX 018-862-5126

<http://www.sensyu-gishi.co.jp>